学校番号	2004

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	ﾎｰﾑｿｰｲﾝｸﾞ基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	2024 生活学 Navi　資料＋成分表（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習を中心とし、基礎的な技術を取り入れながら、作品を製作させる。手縫い・ミシン以外にもいろいろな要素を取り入れる。また、実験･実習に際しては、針･はさみ･アイロン等を扱うので、事故･怪我のないように事前の徹底した指導、安全対策に万全を期する。

2　学習の到達目標

（１）作品制作を通して、手縫いやミシンが身近であることを認識し、衣服の修繕や製作するための基礎的な技術を身につけようとする。
（２）作品制作にあたって、自身のし好や目的に応じた素材やデザインなどから課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
（３）衣服や素材や性質などについて関心を持ち、自分や家庭の衣生活の充実・向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手縫い、ミシンその他の基礎的な技術を身につけている。また、作品を作ることによって、題材を踏まえた技法を用い、計画的、能率的に衣服の製作を行うことができる技能を身につけている。	作品製作にあたって、基本的な手順をもとに、型紙の変形や自分なりのアレンジなどを加え、自身のし好や目的に応じてどのような素材、デザインなどが適当かなどを探求し、判断する力を身につけている。	衣服や素材について関心を持ち、衣生活の充実・向上を目指して意欲的に取り組み、特別課題などにも積極的に取り組む態度を身につけようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	基礎縫い(手縫い)	・並縫い ・反返し縫い ・本返し縫い ・流しまつり ・たてまつり ・略千鳥 ・千鳥掛け	a:基礎的な手縫いの技術を身につけている。 b:衣服の補修や小物の制作を想定しながら、手縫いの技術を身につけることができる。 c:被服制作の準備として、基礎的な知識と技術を主体的に学ぼうとしている。	被服 実習 作品	被服 実習 作品	被服 実習 作品 振り返りシート
	基礎縫い(ミシン)	・直線縫い ・角縫い ・曲線縫い ・ロックミシン ・スカラップ ・端ミシン ・割伏せ縫い ・袋縫い ・折り伏せ縫い ・裁ち目かがり ・パイピング ・落としミシン	a:ミシンの基礎的な操作方法を身につけている。 b:具体的な衣服の素材や種類、その製作を想定しながら、縫い方を判断することができる。 c:被服制作の準備として、基礎的な知識と技術を主体的に学ぼうとしている。	ミシン テスト 被服 実習 作品	被服 実習 作品	被服 実習 作品 振り返りシート
	クロスステッチ「壁掛け」	・下絵 ・クロスステッチ ・基準ライン ・りんかく ・仕上げ	a:クロスステッチの技法や特徴について、基礎的な知識について理解し、関連する技術を身につけている。 b:図案を考え、クロスステッチを施すことにより、自分らしさを表現できる。 c:刺しゅうについて、種類や特徴について興味・関心を持ち、実習に主体的に取り組もうとしている。	被服 実習 作品	被服 実習 作品	被服 実習 作品 振り返りシート

後期	パターン使用の「フリーパンツ」	・型紙切り ・型紙変形 ・配置 ・しるしつけ ・ロックミシン ・ポケット作り ・ポケットつけ ・また下・すそ・また上・ウエスト ・ゴム通し ・アレンジ	a:洋服の構成や用具の適切な使用方法、型紙や布地の性質や扱い方、縫製の基礎を製作過程に実践するために理解している。 b:作成した衣服の着装などにおいて、自分らしさを表現できる。 c:着用目的や着用者に合わせて、素材・デザインを決定し、型紙を作成し、裁断・縫製を行い形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画している。	被服 実習 作品	被服 実習 作品	被服 実習 作品 振り返りシート
	編み物「小物制作」	・編み図の見方 ・くさり編み ・こま編み ・編み方を組合せて小物を編む	a:基礎的な編み物の技術を身につけている。 b:小物の制作を想定しながら、編み物の技術を身につけることができる。 c:編み物について、種類や特徴について興味・関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	被服 実習 作品	被服 実習 作品	被服 実習 作品 振り返りシート
	「フリースはんてん」	・しるしつけ ・裁断 ・そで付け ・ポケット作り ・脇・そで下・そでロ・えり付け・すそ ・ひもつけ ・仕上げ	a:型紙の展開や原型の特徴など、洋服の種類に応じて必要な手順と技を理解している。 b:布地の性質や特性を理解した上で縫い方や断ち方、地直しを考えることができる。 c:着用目的や着用者に合わせて、素材・デザインを決定し、型紙を作成し、裁断・縫製を行い形としてつくりあげる一通りの製作過程を意欲的に計画している。	被服 実習 作品	被服 実習 作品	被服 実習 作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度